

栄養学科教育目標とディプロマ・ポリシー

【栄養学科教育目標】

自己の良心と社会規範に従い、自己を抑制し、責任ある行動のできる栄養専門職者を育成する。

目的に適った情報の収集と論理的な思考・判断を行い、適切に表現できる栄養専門職者を育成する。

自然と共生するすべての生命を尊び、人間の尊厳を守り、人々の多様な価値観を尊重できる栄養専門職者を育成する。

人間・環境・健康を体系的に理解し、健康生活に関わる栄養と食について、社会的視点から多角的に捉えることのできる栄養専門職者を育成する。

栄養管理の対象となる個人・家族・団体の特性を理解し、人々の健康生活に適した栄養ケアをマネジメントできる栄養専門職者を育成する。

地域社会の栄養と食生活に関する健康課題を評価・判定し、問題解決に向けた効果的な栄養と食に関する生活支援を実践できる栄養専門職者を育成する。

社会と保健医療福祉分野での管理栄養士の役割と責務を認識し、多職種および関係者と連携・協働できる栄養専門職者を育成する。

保健医療福祉の動向を捉え、管理栄養士としての専門性を探求し、将来にわたり能力効能向上のために自己研鑽し続ける栄養専門職者を育成する。

【栄養学科ディプロマ・ポリシー】

自らを律し、主体的に行動する能力

栄養専門職として、自身の言動に責任をもって行動し、栄養管理の目的達成に向けて主体的に学習することができる。

生命を大切にし、人々の権利を尊重する態度

栄養専門職として、人々の健康と栄養を支える全ての生命を大切にし、人々の権利や価値観を尊重することができる。

目的を達成するために他者と連携・協働する能力

多様な文化や社会を理解し、他者と連携・協働して物事に取り組むことができる。

人々との関係性を構築する能力

栄養管理の対象となる人々、協働する様々な職種の人々と良好な関係を築き、発展させるためのコミュニケーションスキルを有している。

問題・課題を発見し、解決する能力

健康と栄養を支える上で必要な情報を収集・分析して問題・課題を発見し、改善・解決するための計画を立案し実践できる。

修得した知識・技能を活用し栄養管理を行う実践力

栄養専門職として、栄養学及び関連分野の知識とそれに基づく技能を身につけ、栄養管理に活用できる。

栄養管理の在り方を探求し、保健・医療・福祉の発展に寄与する能力

人々の健康と栄養を支えるために栄養管理のあり方を探求し、保健・医療・福祉の発展と地域社会に貢献することができる。